

後援会ニュース「しおかぜ」は街づくりのコミュニティ紙として皆さんの暖かいご支援をお願いします。ご意見をお聞かせください。



# しおかぜ

日本共産党浦安市東部後援会  
News

第54号

2014年 7月 4日  
編集責任者 元木計文  
047-355-8526  
部内資料

## 安倍暴走政権にNO! 今こそ労働者と市民の連帯の広がりが求められています!

日本共産党が今国会に提出していた「ブラック企業規制法案」は6月20日の参院本会議で継続審議とすることが全会一致で決まりました。また、安倍内閣が今国会成立をねらっていた労働者派遣法改悪案は20日、審議入りもできないまま廃案になりました。「生涯ハケン」「正社員ゼロ」を許すなどの労働界、法曹界はじめ幅広い世論と運動に押されたものです。

●市川・浦安地区労働組合連合会の中陣議長に、市川浦安の労働実態と取り組みについてお聞きしました。



【働く者の要求をかかげて開かれた第85回中央メーデー・しんぶん・赤旗より】

重点監督を行った事業場の86%で法令違反が!

昨年7月の参議院選挙で躍進した日本共産党は10月、ブラック企業の規制は若者や労働者、日本の社会と経済にとって緊急課題だとして「ブラック企業規制法案」を提案。これに厚労省が法案成立前から動き、その結果、12月千葉労働局は、県内で重点監督を行った事業場の86%の職場で何らかの法令違反があり、違法な時間外労働と残業代未払いがその8割を占めていたと発表しました。



具体例として、「長時間労働で脳血管疾患を発症したのに、その後も月100時間を超える時間外労働が行われていた」「労働時間が適正に把握されておらず、月80時間を超える時間外労働が行われていた上に残業代が支払われていなかった」など違法・無法な実態が常態化しており、学生などのブラックアルバイトでのひどい実態も課題です。

市川・浦安での闘いは

市川・浦安地区でも労働者を守る労働基準法の規程との乖離が目立ち、それに対する闘いが高まっています。

## 日本共産党演説会

安倍政権は、内閣の勝手な憲法解釈により集団的自衛権の行使を、国民の声を無視して押し通そうとしています。

小池晃副委員長が安倍暴走政権をストップするために、熱く語ります。

ぜひお誘いあわせてご参加下さい。参加される方は、新浦安駅に午後5時15分に集合して下さい。26分発の電車に乗ります。



小池 晃

- 日時 7月12日(土) 午後6時半 開会(午後6時 開場)
- 会場 市川市文化会館 小ホール(入場無料)
- 集合 新浦安駅改札口 午後5時15分
- 弁士 党副委員長 参議院議員 小池 晃
- 連絡先 元木 355-8526



市の公共事業の入札業者は人件費を下げようと非正規労働者を増やし、その結果、正規労働者の賃金も引き下げられるなか、組合員が未組合員たちを誘って関連質問の市議会を傍聴する。／教育の労働現場では、退職後の再任用希望者が多いとして、本来県費職員であるのに市費枠に回され、年収は75万円低く、年休は7日少なく、通勤に自動車利用不可などという余りにもひどい差に、組合員が非組合員にも呼びかけて集会を開き、



今後も改善を求めて要求運動を続けていきます。／浦安市内の学校現場では、出勤簿は未だに出勤簿の押印で済ませられ、労働時間の記録がなく労働安全衛生法が無視されています。／ある民間会社では、団交を会社側の弁護士が時間外・会社外で仕切り、その不誠実さを組合が地労委に訴えた結果、団交は時間内(無給)・会社内でと前進しました。／5月、医療・郵政・日航の労働者が問題になっている雇用増(正規雇用化・解雇撤回)、労働条件(夜業や深夜勤の改善)などでジュネーブのILO本部を訪問。

【2面に続く】

【1面からの続き】

浦安の郵政産業ユニオンからも参加し、郵政の非正規労働者の不合理な労働条件や雇用状況、連続「10時間深夜勤」の浦安の実態を報告。ILOの担当者は「労働者がILOに報告や要請をすることが本場に大事、現場のことは伝わってきていない」「日本でも、大同団結した労働者の運動を進めてほしい」と話したそうです。

現在も労働条件や雇用、メンタル労災などの労働相談を抱えています。そして、いま、安倍政権が押し進める「競争する国づくり」のための庶民ゴマカシ。庶民生活無視の政策が広がる中で、ますます労働者と市民の連帯の広がりが必要です。市浦労連では労働組合や市民団体に呼びかけて10月19日の「わくわくフェスタ」に取組んでいるところです。

▲「医療・介護総合法」の“ごまかし”で家族はどうなる 医療・介護労働者は ▲  
— 学習会（参加費無料） —

医療介護の専門家による政府の説明と問題点が報告されます。どうぞご参加下さい。

- 日時 7月5日（土）午後6時半～8時半
- 会場 市川市文化会館3F 第2会議室
- 主催 市川・浦安地区労働組合連合会

# 私の故郷自慢？

No. 5

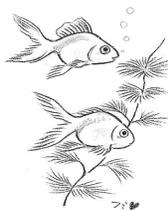
## ◆ ハスと金魚と水害 船堀 ◆

私は浅草に生まれ、幼少の頃は、父親の仕事の関係で南千住、砂町、船堀と下町を転々と移り住みました。あなたの故郷はどこなの？と言われると、東京生まれと答えますが、でも「故郷」というイメージの場所が思い浮かびません。強いて挙げれば6～16歳まで過ごした江戸川区の「船堀」でしょうか。



江戸川区は、荒川と江戸川に挟まれた典型的なゼロメートル地帯でハス田の多いところでした。当時の船堀は、台風が来る度に、大雨で排水が追いつかず床下浸水になりました。私たちは、その度に畳を上げて、道路だか川だか分からないようなところを、大急ぎで近くの船堀小学校に避難したものです。それも夜の時が多く怖い思いをしました。でも、台風が過ぎると後片付けで親は大変だったのですが、私たち子供には楽しみがありました。

増水した近くのハス田からコイなどの魚が、面白いように道路脇のU字溝に流れてくるのです。手掴みでバケツ一杯取ることができました。金魚も、どこかの養殖場から流れてきて、まだ水の引かない家の前の道路は金魚すくいの場でした。



私にとって「船堀」のイメージは、ハスと台風と魚の掴み取りができる“のどかな町”でした。船堀の名物は「ハス」と「金魚」なんです。

「金魚」は愛知県弥富町、奈良県大和郡山市とともに日本三大産地でした。今でも、東京都淡水魚養殖漁業協同組合の本部が船堀にあります。

(マツキ)

年齢とともに加わったものは

村上 ますえ

「加齢です」  
断定的なドクターのことば

すべて引き算のみと思っていた昨今  
眼の機能も 耳も 歯も 記憶力も  
それにわずかな預金までも  
減退を続ける自覚の中に  
加えるものがあつたとは



「亀の甲より年の功」は  
老人の空威張り  
そんな自嘲の中にふと思う  
加えたものがあつたのだと  
ふつつつと心にたぎる  
この怒り



守り伝えた国のかたちが変わられる  
「集団的自衛権」を繰り返す  
もう聞き飽きた そのころ  
既成事実となる マスコミの謀略？  
追い詰められたこの焦り

心にため込む<sup>おり</sup>津が  
年齢とともに積み重なってきたというのか



## 国保学習会

上がる国保どうなるの？ みんなで学習  
しましょう！

- 日時 7月21日（月）午後1時半
- 会場 浦安市文化会館 第1会議室
- 講師 丸山慎一 千葉県議会議員
- 連絡先 元木 355-8526

